

モーターボート競走

30

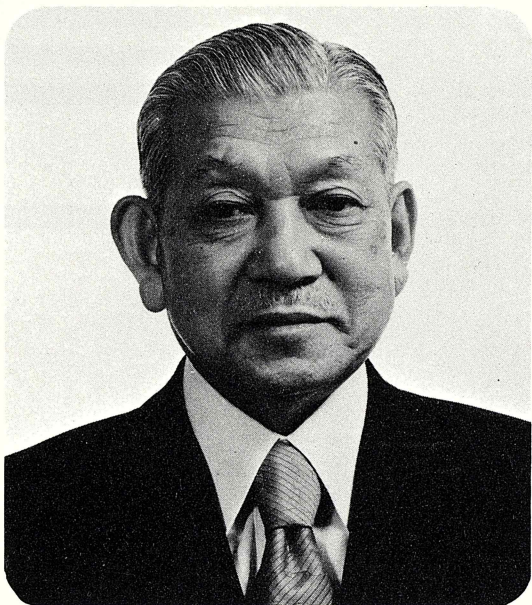
年史

草創期篇





発刊のことば



社団法人全国モーターボート競走会連合会  
会長 佐川良一

本会は、昭和26年11月28日に、社団法人全国モーターボート競走会連合会として設立されて以来、本年をもって30周年を迎えました。

これもひとえに監督官庁であります運輸省をはじめ関係各位のご指導、ご支援の賜と衷心より厚くお礼を申し上げます。

顧みますと、モーターボート競走法案は参議院本会議で一旦は否決されたのでありますが、衆議院本会議で再審議可決と劇的な逆転をして公営競技の末弟として誕生いたしました。

以来、私は関係各位の絶大なるご支援のもとに「モーターボート競走はファンの皆さんからの大事な預りものであり、これを預っている我々の責任は地球よりも重い」と考え、ファンあつてのモーターボート競走

を基本理念として運営を指導してまいりました。

その結果、今日売上においては公営競技界で首位の座を確保すると共に、モーターボート競走発足以来の収益金は2兆円余にもなり国内はもちろん、国連本部、WHO、ユニセフ、ユネスコ、難民救済高等弁務官事務所、ドレーパー人口基金財団等を通じて世界人類のために役立ち、民間団体としては世界最高の寄付高となり多くの人々から感謝されておりますことはご同慶の至りであります。

しかしながら、昨今の業界を取り巻く情勢はまことにきびしく、今後モーターボート競走業界が更に発展を続け、盤石の体制を整えて行くためには、業界関係者がもう一度原点に立ち返り、叡知を集めて今後の進むべき方向を確立することが急務であります。

私はそういう意味で法制定30周年である今年を“競艇元年”と名付け、モーターボート競走の新しい門出の年であると考えております。

この記念すべき年に、モーターボート競走30年史を編纂し、皆様方のご参考に供したいと思いこの度発刊を企画した次第であります。何分にも永い歴史のことでもありますので十分に言いつくせない所も多々あろうかとは存じますが、ここにその一部をお届け致します。

今後とも各篇の編纂にご協力賜わりますようお願い申しあげ発刊のことばといたします。

昭和56年11月26日



笹川会長対談

○笹川会長が語る競艇30年…………… 1

運輸省関係者座談会

○海運・造船立国ふたたび……復興への幕あけを証言する…13

ボート・モーター製作者座談会

○“造る、も”走る、もヤミの中……  
ボート・モーターに託した情熱……………29

近江神宮審判員講習会  
誌上座談会

○昔の審判講習会を語る……………47

資料

○競走用モーターの諸元……………58